



若柳 良明 議員  
(平和環境市民クラブ)

## 人口減少対策の予算措置は 子育て・定住・企業誘致等

【Q】市長が重点課題として取り上げている人口減少対策に対する予算措置の主なものについて伺う。

【A】市長 子育て・教育環境の充実として、市単独による医療費の助成や第3子以降の保育料軽減、就学に支援が必要な方への奨学金の貸与と市内居住を条件とした返還金免除制度、子育て世代包括支援センターの設置、産前産後ケア施設への業務委託などを実施していく。また、定住・交流の促進に向け、本市の魅力を双方向型ウェブサイト等で発信、首都圏対象の移住体験ツアー、大学生が市内企業で長期間就学体験を行う実践型インターンシップを実施するほか、子育て世帯のUIJターナー者に対する住宅取得補助や就業奨励金、空き家バンク活用奨励金を継続していく。さらに新規就農者の確保・育成と企業誘致の推進として、市外からの新規就農者への機械等の取得費用や農地賃貸料の支援に加え、農業研修期間の家賃補助を行い、企業誘致では新たな産業団地の候補地調査、賃貸工場の整備を行う。



新たな賃貸工場建設予定地(二枚橋)

## 米の直接支払交付金は

【Q】米の直接支払交付金は10アール当たり75,000円交付されているが、平成30年度から廃止されることになる。本市への影響額はいくらか伺う。

【A】市長 本市における平成26年度から平成28年度までの交付額から交付金の廃止による減収額は、4億5,000万円以上になると見込んでいる。

【そのほかの質問】 市の職場環境について



高橋 勤 議員  
(明和会)

## トップセールスの実績は 高い評価で今後も供給を継続

【Q】市長・副市長には関係機関と連携しながら「魅力ある市内の農畜産物」を全国各地へ積極的にトップセールスに努めていただいた。特に酒造米としては品質が一定であり評価が高いことに、どのような手応えを感じたか伺う。

【A】市長 大阪府の米卸業社や兵庫県の酒造会社を訪問し、加工用米、酒米のトップセールスを行った。前回の訪問では3年間の複数年契約を締結し取引を行ってきたが、今回はさらなる結びつきの強化を図ることを目的に実施したものであり、大きな成果があったと考えている。業者からは「非常に品質が良い」「酒造りに適しており今後も安定供給を願いたい」などの高い評価をいただき、平成29年度以降の契約締結に向けた最終的な需要量の確認を行ってきた。また、現在、取引をいただいている酒造会社からの新たな引き合いの話もあるが、現時点の本市の生産量では対応が難しいと理解している。

## 施設の老朽化について

【Q】市営住宅の水洗化について水洗化率ほどのぐらいか伺う。



市営住宅(大谷地アパート)

【そのほかの質問】 イーハートフ花巻ハーフマラソンについて



内館 桂 議員  
(市民クラブ)

## 医療・福祉の推進は 医師確保の取り組みを支援する

【Q】総合花巻病院の移転整備計画が決まったが、医師不足解消に向けて市独自の対策支援が必要と考えるが所見を伺う。

【A】市長 医師確保については、岩手医科大学をはじめとする大学医学部との連携が不可欠であり、これまで総合花巻病院では岩手医科大学の医局を随時訪問し、診療機能の向上に向けた医師確保に努めてきた。移転整備検討委員会のメンバーとして岩手医科大学にも入っていただき移転新築整備基本構想についてご理解をいただいている。市として直接経営する病院を有していないため現時点での独自の医師確保対策はないが、総合花巻病院は花巻の医療にとって重要であるという観点から、市としてできることがあればぜひ支援していく。

## (仮称)東和コミセン整備は

【Q】平成28年4月1日から当該センターは閉鎖された。改築整備の見通しについて伺う。

【A】市長 複合施設として整備を検討するため、地域住民の皆様のご意見を聞く「東和コミュニティ



現在の東和コミュニティセンター

センター基本構想検討委員会を設立し、建物の基本構想を検討いただいているところである。平成28年度から32年度を計画期間とする花巻市過疎地域自立促進計画に(仮称)東和コミュニティセンター新築事業として計画しており、花巻市まちづくり総合計画第2期中期プランにおいてもその計画を記載しているところであり、計画期間内の完成を目指して整備していきたい。

【そのほかの質問】 介護予防日常生活支援総合事業について



藤井 英子 議員  
(花巻クラブ)

## 産業振興について 若者の地元企業への関心を

【Q】平成28年度は、宮沢賢治生誕120年記念事業、国体開催等により「はなまき産業大博覧会」が開催されなかったが、平成29年度は開催の予定があるのか伺う。

【A】市長 はなまき産業大博覧会とは平成24年度から平成27年度まで4カ年連続して開催した。実行委員会において毎年の開催は負担が大きいため、いったん立ち止まって事業を再構築することも必要との意見が出され、平成28年度は開催を休止し、平成29年度の開催に向けて検討してきた。平成29年度は市内企業の協力を得られる見通しがついたことから、市内産業の紹介、産業振興と若者の地元企業への就職意識の動機付けを図る目的で実施することとし、平成29年度当初予算に経費を計上した。

## 子供たちへの取り組みは

【Q】地元の子供たちに地場企業保につなげようとしている取り組みが着実に進んでいると思うが、将来の人材になり得る小中高生に対する取り組みについて伺う。



はなまき産業大博覧会の様子(平成27年)

【そのほかの質問】 平成29年度の行政組織について、職員研修について、保育行政について、食品ロス削減について